

さいたま教区の兄弟姉妹の皆様

2011年9月1日

さいたま教区長

司教 谷 大二

## 9月11日、東日本大震災から6ヶ月

主の平和

3月11日に発生した東日本大震災から9月11日で半年を迎えます。

この震災でさいたま教区の茨城沿岸地区、那須地区の教会、修道院、諸施設に多くに被害がでました。皆様の支援と多くの人々の協力によって、なんとか復興することができました。ここであらためてお礼を申し上げます。

被災地域では、原発事故周辺地域を除くほとんどの地域ではようやく後片付けが終わり、これから復興に向けて歩みだそうとしているところです。

現在、避難所にいた方々の多くは仮設住宅に移られました。しかし、被災者はいまだ困難な状況に置かれています。また福島県などでは原発の影響が大きく、住民は不安のうちに生活されています。

### 9月11日（日）のミサのなかで祈りを

日本カトリック司教協議会会長から「東日本大震災から半年にあたり、日本の教会として被災地への祈りをささげるお願い」が出ています。また、9月11日、カトリック、日本キリスト教団合同礼拝が下谷教会で行われます。

さいたま教区でも、9月11日の主日のミサのなかで教区内のすべての教会で祈りを捧げるようにお願いします。ミサのなかで、亡くなった方々のために、いまなお不安と困難のうちに生活している被災者の方々のために祈ってください。また、被災地域の復興のためにも私たちができることを祈りのうちに考えていただければ幸いです。共同祈願例文を参考にしてください。

### これからの支援

被害の大きかった仙台教区への支援は、これまで仙台サポートセンターを中心に行ってきましたが、6月の司教総会で全国のカトリック教会が組織的に支援することになり、現在、様々な形での支援が行われています。さいたま教区では3月末から福島県のいわき市に「湯本サポートステーション」を設置し、支援してきました。多くの被災者が仮設住宅に移られたいま、仮設住宅を中心にした支援を展開しています。今年のクリスマスには仮設住宅のそばに「サポートステーションもみの木」を発足させる予定です。ここを拠点に長期の支援を計画しています。

これまで、震災見舞金はさいたま教区へ、支援活動のための義援金はカリタスさいたまに寄せていただきましたが、震災見舞金の受付は、9月11日をもって終わらせていただき、カリタスさいたまの義援金のみ継続させていただきます。多額の見舞金ありがとうございました。今後は「湯本サポートステーション」と「サポートステーションもみの木」の活動のために、お祈りと「カリタスさいたま」へのご寄付を引き続きよろしくお祈りしたいと思います。

以上